

美容アンチエイジング

Look into the Future



一人5役を演じた池田医師、実行委員長としての「顔」で初日冒頭のあいさつからフォーラムの火ぶたが切られた

2日間で450人が来場した会場は、後ろの席まで参加者は埋まった



写真が語る

第5回JAAS東京ライブフォーラム



最近の裁判事例から医療訴訟について解説した神崎弁護士に、座長役の池田医師が感謝メダルを贈呈する



上海からフォーラム講演のため来日した井上医師。多発する中国の美容医療事故について報告した



歯科セッションそしてエステセッションで座長を務めた中村 朋美歯科医。JAAS理事の中間医師より記念メダルが授与された



異彩を放った！女性の美容医師フリートーク。進行役の山本 豊医師も4人が語るトークにたじたじとなった

2日目の同時ライブ中継で、池田医師は最後の5役目として、自らが患者となって糸リフトとBOTOXリフトを受けた



BOTOXによるネックリフトの講演(武藤医師)は、当初予定はなかったが翌日の同時ライブ中継で、異例の施術実施となる



2日目アンチエイジング内科の講演で「美容施術後の経過を良くする漢方治療」は、演者 結城薬剤師のわかりやすい解説もあり、秀逸な講演！と評価した参加者も少なくない



メディカルエステ術をデモ実演を通して、解説した服部氏



高見医師の「眼瞼下垂術の講義と動画」は盛りだくさんの内容で講演時間をはるかに超えたが、参加者はその講義に充分堪能した



「醜形恐怖症の患者はどの程度？美容整形医に満足しているのか」そんな興味深い講義をして頂いた精神科医の鍋田医師



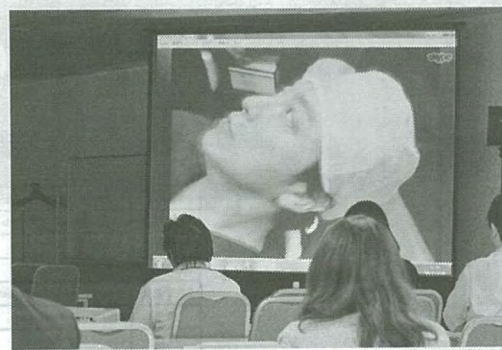
「修正術を知る者はプライマリーの手術の肝がわかる」山本医師の動画解説は必見に値した



アンチエイジング美容歯科セッションで演壇に立った三田村歯科医。歯科だからできる美容アンチエイジング術を投げかけた



決して出展社数(25社)は多
くはないが、フォーラムは
年々健在だ。高品質の商談
率は今のまま



初日のライブ中継、「下眼瞼形成術ハムラ変法」(山本医師)を食い入るように供覧する参加者

美容アンチエイジング

Look into the Future

ズームイン

フォーラム講演 その1

第5回JAAS東京LiveForumから

美容関連診療所の経営強化学

クリニックF
院長 藤本 幸弘医師

競争激化の美容クリニック だからこそ、経営方針の 転換を

JAAS日本アンチエイジング外科・美容再生研究会の「第5回JAAS東京ライブフォーラム」(9月28日、29日)が、東京港区T.K.P赤坂駅カンファレンスセンターで盛況のうちに幕を閉じた。本稿では、第5回ライブフォーラムでの講演の中から、とくに話題をさらった発表を数回にわたってダイジェストで紹介してみた。第1回目は、経営マーケティングセッションで講演した「美容関連診療所の経営強化学」(C LINEIC F 院長 藤本 幸弘医師)をピックアップしてみた。

工学には高い見識と経験をもち米国レーザー医学会の専門医でもある。そして経営管理修士としてクリニック経営のノウハウにも精通するという類まれな美容ドクターである。

そんな藤本医師の講演ではまず「わが国の医療サービスは、一昔前までは、診療・治療は医者任せ、医者の言い成りであったが、女性の社会進出の増加と高齢社会の進展により美容・アンチエイジングと言った健康と美を維持するための医療へのニーズが高まってきた」と冒頭投げかけた。

そして、患者がクリニックや施術方法を自由に選択できるからこそ、一般の医療機関よりもはるかに競争が激化しているにも関わらず

「以下、藤本医師の講演を語り口調形式で紹介していく。文脈上多少の修正があることはお許し願いたい」

複数の美容クリニックの立ち上げや運営に携わり、さらに自身でも美容クリニックを運営している藤本医師によると、クリニックもきちんと利益を取ることが当然であると話す。その理由がこうだ。

医療現場には、コスト、クオリティ、アクセスの3つが必要である」と藤本医師は話す。だが世界の医療事情を見ると、この3つが全部そろっている国はほばない。アメリカは医療コストを上げることで国民全員の一般的な医療ではないものにしてしまっ

た。逆にイギリスは医療コストを国民全員に提供できないよう原則無料としたためクオリティが下がってしまった。そんな中で日本は、通いやすい場所(アクセス)、低コスト(世界全体でみると日本の医療費は下から8番目程度)で医療サービスを提供している。ともするとイギリスのようにクオリティが下がりそうだが、日本の場合には医師個人の努力によって、高いクオリティを保ち医療サービスを提供しているのが状態だ。

こうなってくると、日本の医師はもっと利益を取って然るべきと強調した。そのためには美容医療業界はアンチエイジング医療の枠をもっと広げること、限られたパイをより大きくする必要があるという。フィットネス、スパ、美容院など健康関連産業はリピートによってサービスを継続的に提供することが重要だが、この考えは美容クリニックでも同様である。

新規客を獲得する施策以上に、ロイヤルカスタマー化する施策を展開することでお客様の心を読んで会話に抑えることもできる。リ

常のマニュアルでは無駄話はいけないとあるが、このように個人にあわせたオリジナルのサービスを提供することを「瞬間のVIPサービス(インチャサービス)」という。クリニックの経営においてさらに重要なポイントはいくつがある。

まずは理念の確立だ。常にスタッフへコンセプトを伝え続けることで、医師だけでなく全員がしっかりと理念を確立することが大事だ。さらにスタッフの誇り・プライドを保つことも重要で、社員に向上心を持たせることでよりクオリティの高いサービスを提供できるようになっていく。

また、現場の情報収集も大切で、一般的なカルテの情報だけではなく、食べ物や趣味の志向、趣味など一人一人の個性をクリニックにおいて把握することで、たった一人に向けた特別のサービスを提供することができる。

クリニックは今後、医療サービスを提供するだけでなく、お客様をもてなし、大事にし、そして育ていくというスタイルでの運営が必要とされている。さらに施術を提供する医師においても、専門性や学歴、優秀さといったハード面以上に、ファンを形成してオンラインの位置を築くことが大事だ。

コンセプトを明確にし、サービスの質を高め、スタッフに誇りを持たせ、さらに医師がオンラインワーカーになることでVIP顧客の多いクリニックに近い



セッションの座長・池田MDから藤本MDに感謝の記念メダルが贈呈される

先進国中、秀でた「アクセス」「クオリティ」

一人の患者に徹底したVIPサービスを、それがリピーターを増やす

医療も「サービスサイエンス」の視点が重要

クリニクは今後、医療サービスを提供するだけでなく、お客様をもてなし、大事にし、そして育ていくというスタイルでの運営が必要とされている。さらに施術を提供する医師においても、専門性や学歴、優秀さといったハード面以上に、ファンを形成してオンラインの位置を築くことが大事だ。

LADY MERRY
N&T Co., Ltd.

中村 朋美

PROFILE

日本大学歯学部卒業 (96)
日本大学歯学部助手 (97-99)
日本大学助教 (99-00)
別府大学歯学部小児歯科専攻助教 (現在)
国際歯科大学歯学部小児歯科専攻 講師 (現在)
日本大学歯学部歯学部 受賞
国際歯科大学歯学部 受賞
小児歯科博士号取得

JASS 日本アンチエイジング外科・美容再生研究会 認定
日本小児歯科学会 専門医
日本歯科放射線学会 専攻医
顎咬合学会 会員
日本小児歯科学会 会員
日本小児歯科学会 受賞
日本小児歯科学会 受賞
国際歯科大学歯学部 受賞
小児歯科博士号取得

女性の願いを込めた至高の1台

スキンケアからメイクアップまでこの1台

EMS
日常で使わない筋肉、衰えた筋肉へ特殊な電気パルスをおこないます。筋肉部へ働きかけることによって肌を引き締め、ハリ・弾力を実感できます。

音波振動ファンデーションモード
1分間約6,000回の振動。微細な音波振動によりプロのメイクアップアーティストのようなパティングにより高い密着力でファンデーションを塗った後の仕上がりを長時間キープします。さらに、毛穴をカバーし、色むら、厚塗り等のない陶器のような女優肌を実現できます。
※音波振動ファンデーションをご使用する際はMODE2をご使用ください。

音波振動クレンジング・音波振動ウォッシングモード
頑固なメイクの汚れ・皮脂の汚れは通常のハンドウォッシュでは取り除くことが難しく、強くこするなどでお肌にダメージを与えてしまいましたが、付属の専用ブラシを使用することで肌の汚れを優しく取り除くことで、その後のスキンケアで保湿力・ウルトラパルスでの浸透率を高めます。
※音波振動クレンジング、音波振動ウォッシングをご使用する際はMODE1をご使用ください。

タッピングモード
ウルトラパルスモードの後に、使用することで美容液の浸透力をより高め、エステティシャンが行うタッピングのような振動を与えることでお肌を引き締めすっきりとしたフェイスラインへ導きます。また、疲れを感じる方へ、ハリ弾力のある肌へと導きます。
※タッピングモードをご使用する際はMODE3をご使用ください。

LED

- ブルーLED415nm(±10nm)
お肌の汚れを落とす。爽快肌へ。
- イエローLED590nm(±10nm)
明るく透明感のある印象肌へ。
- レッドLED620nm(±10nm)
お肌の乾燥を防ぎ、ハリ・弾力・潤いを実感。

トータル
トータルエイジングケアに、肌本来の美しさへ。

フラッシュトリーニング
3種類のLEDを点滅させて使用。全体の潤い仕上げ。

LADY MERRY(レディメリー)
定価:126,000円(税込)
＜セット内容＞本体・AQアダプター・付属ヘッド5種

製品名	LADY MERRY(レディメリー)
電源定格	入力AC 100-240V 50/60Hz 出力DC 5V3A
消費電力	最大10W
出力周波数	90kHz
LED波長	青415nm(±10nm)・黄590nm(±10nm)・赤620nm(±10nm)
外形	最大40mm×20mm×30mm
重量	約20g(本体のみ)・約110g(付属品含む)
タイマー	10分

LADY MERRY 専用美容液

LADY MERRY
保湿・美白・弾力アップ美容液
レディメリー
14日間限定価格
20ml 14,700円(税込)

株式会社 N&T
〒176-0001
東京都練馬区
練馬4-24-9
TEL.03-6914-6378
FAX.03-6914-5739

J A A Sは 一般社団法人の アカデミーの 教育と トレーニング に役割分担

J A A S日本アンチエイジング外科・美容再生研究会は、美容医療発展を目指し、2010年春の発足以来、年次総会を兼ねた東京Five Forumはもとより、年間30回を超える多くのライブ講習会、海外派遣研修、解剖・執刀トレーニングなどを中心に運営してまいりました。

一方、J A A Sの正式名称が研究会という名称から、他学会団体との類似性を求められる場合も少なくありません。先達の諸団体に比べ、その規模や歴史、学術的な蓄積や見識など、これをとっても遠く及ばないJ A A Sに対して、昨今では『美容医療の第3の勢力』と位置づけられたことは、その何よりの証でしょう。

研究会を主宰する私ども理事にとつては、光栄なことであり、僥越至極であると感じています。

こうしたことを踏まえ、透明性、公平性を求められるアカデミーとしての学術団体と、J A A Sの真骨頂ともいえる会員個々のトレーニング、あるいは技術の習熟と研さんを行う教育部門とを役割分担して活動していくことを理事会にて決定しました。

J A A S アンチエイジング 外科・美容再生

一般社団法人格のJ A A Sでは、学術集会の開催(Live Forum)も、会員個々のトレーニング、あるいは技術の習熟と研さんを行う教育部門としてJ A A Sアカデミーを設立しました。本アカデミーは、健康医療ジャーナルを母体とする本邦初の民間企業主体の美容医療・アンチエイジングのトレーニング団体と長に就任しています。



一般社団法人 J A A S 日本アンチエイジング外科・美容再生研究会 理事 池田 欣生 MD

一般社団法人 J A A S

あえて美容医療での専門性を重視した入会資格を設けず、経験者、初心者問わず、経歴者、初心者の壁を取り除いた研究会として活動していく。広く他科診療の医師や、歯科医の入会にも門戸を広げ、コメディ

J A A S アカデミー

格スクールとして発足する。引き続き、J A A Sの認定医は認定エステティシアンなどの資格取得に必要な履修講座としての役割

認定医など履修の場は J A A S アカデミーで

てきた山本美容整形塾の価値は高く、回を追うごとに受講者の数は増え続けている。アカデミー開校にあたっては、まずは美容医療の初歩から中級、上級までの技術トレーニングや、アンチエイジング再生医療の知識、実技と導入講習を行う。そして歯科アンチエイジングのスキルアップ講座、実技講習や、メディカルエステや理美容の技能向上をはかるためのカリキュラムも組み込んでいく。

一方、J A A Sと役割分担したかたちで、従来のJ A A Sアカデミーでは、教育に特化した団体として邁進していく所存でございませぬ。

掲げる活動趣旨は、美容外科・美容皮膚再生・美容アンチエイジング・メディカルエステの技術向上をめざす。総合予備校である。アカデミー学長には山本医師が就任するが、「美容医療を中心的に学べる学校の必要性をかねてから訴えてきた。日本の医学教育システムの根底をなす『医局』のあり方に疑義を投げかけ、医療スキルを学ぶためにはとほうもない努力、時間、金銭がかかると指摘する。とりわけ美容医療そのものが医学教育のカリキュラムに存在しないことから、とくに自分の身につけたい技術あるいは系統的な知識の取得を学習する機会は圧倒的に少ない。だからこそ、旧J A A Sのライブ講習で続け

アカデミーの体制は、学長、副学長のもと、専任講師、非常勤講師や海外顧問も配置しながら、美容医療部門では「山本美容整形塾」公認ライブ「山本美容整形塾・マンツーマン塾」「DR中間の美容アンチエイジング再生塾」などが引き続き開校していくことになる。また、医療経営学を学ぶカリキュラムも準備しており、「美容アンチエイジング医療経営アカデミー」も今後スタートする予定だ。

アカデミーでは、美容医療の修学、技術講習に対して幅広く入校生を受け付けるために、年2回ほど「美容アンチエイジング医療公開講座」を開催して、保険診療医や医学部を卒業した研修医などにも参加を呼び掛けている。

美容アンチエイジング

Look into the Future

第5回JAAS東京ライブフォーラムが、9月28日(日)・29日(月)の2日間、TKP赤坂駅カンファレンスセンターで開催され、盛況のうちに幕を閉じた。JAAS主催のもと、後援にはJAASアカデミーが協力体制で運営され、美容医療、アンチエイジング内科、美容歯科の臨床研究、最新医療知識の習得やクリニックエステ術も含めた症例検証のための学術発表の場を設け、他に類のない運営として、会場とライブ現場(東京皮膚科・形成外科)とを結んだ2次元同時中継のライブ映像も上映された。フォーラム初の試みとして術者はもちろん処置される患者役とも、医師あるいは歯科医という演出に会場参加者は目を張ったことはいままでもない。当日はフォーラム過去最高の450名(2日間)の来場を得た。

第5回目となったライブフォーラムの実行委員長にはJAAS理事長の池田欣生医師が就き、2日間にわたるプログラムでは実行委員長、演者、座長、ライブ術者、患者役と一人5役をこなした。獅子奮迅の活躍をみせた。

発足から現在に至るまで、一人一役、会の前進に情熱と努力を注いできたのは池田欣生医師であることは、だれの目にも疑いはない。

2日間のプログラムには、両日とも午後後半からの2次元同時中継のライブ上映が組み込まれ、初日には、山本JAASアカデミー学長が執刀する「下眼輪形成術」ハムラ変法によるクマ治療」がライブ中継された。

2日目は「最新の切らない下顔面形成」複合治療LZリフト、3Dリフト、切らない鼻翼縮小(池田医師)、「口腔内アプローチによる口角リフト」(中村 徳三歯科医師)、「3Dリフトによる二重あごの治療」(田中 亜希子医師)の3症例が放映され、処置される患者役も医師であったことは先述のとおりだ。

進行役のコメントターにはJAASアカデミー副学長の中間 健医師が務め、例年どおりの術式の「肝、オペ器具、注射針、縫合糸、麻酔剤などの種類、容量、オペ手順など、術者と会場にいる供覧側との間で質疑応答が繰り返された。過去4回にわたって繰り返されてきたこうした学術大会(ライブフォーラム)での「ライブ放映」には、参加した誰しもが驚きの声をあげてきたが、美容医療の世界ではライブ供覧を行うことと自体がまれで、その上に術者が手術の一部始終について細かく教えることはありえない。いかに、このライブ中継が「業界の掟」を破ってきたか、は想像にたかなくない。今回もまさにその「掟破り」を踏襲したことになる。

講演初日には、美容アンチエイジング外科セッションが2つ用意され、眼瞼形

過去最高2日間で450名の来場

第5回JAAS東京ライブフォーラム幕閉じる

池田理事長、「一人5役」で獅子奮迅の活躍

「フォーラム名物」ライブ中継は、医師(術者)VS医師(患者)で話題さらう



スクリーンに映写しながら会場内で注入デモを行う池田医師

成の修正術、とから、参加者は真剣なまなこで、眼瞼下垂(観)いつていた。

手術、BOT 午後には昨年第4回で好評を得た「女性の美容医フックリフトな」リフト」が繰り返された。4人の女性医師が開業交えた講演が、から現在までの苦労や経営行われた。

とりわけ話 2日目は、美容アンチエイジング再生医療、美容アンチエイジング内科、アンチエイジングエステ術のセッションと続いた。池田医師による特別講演が準備された。

「ピギナーから知っておきたいヒアルロン酸の注入術と合併症の回避法」と題して、統括役紹介してみたい。

題をさらった 池田 欣生医師が講義とデモ実演を会場内で実施した。上海サクラガーデン眼瞼整形クリニックの井上 祐一医師からは、多発するヒアルロン酸による事故について中国の事情が報告された。

「これからヒアルロン酸注射を始めようとするヒアルロン酸の医師、さらには経験者であっても、改めてその基礎知識と注入の基礎と対処法を確認してもらいたい」として、池田医師は講演の後に、参加した医師に対して注入デモを行った。

使用した製剤はアラガオン・ジャパンのヒアルロン酸使用軟組織注入材「ジュビダーム ビスタ ウルトラ」ジュビダーム ビスタ ウルトラプラス」で、今年3月、日本で初めてヒアルロン酸製剤として厚生労働省から医療機器製造販売承認を得ており、顔面における中等度から重度のシワや鼻唇溝を修正する目的で認可されている。認可にあたり、安全性試験をクリアしていることはいままでもない。

この特別講演に対して参加者からは「製剤の安全性を担保することが重要だと認識した」「池田医師による合併症を回避させる注入理論とそのテクニックは大いに参考になった」という声が多数あがった。

後半のページ(5〜7面)では、2日間にわたったフォーラム会場の様子を写真でピックアップすると共に、講演でとくに興味を引いた演題をダイジェストで紹介してみたい。